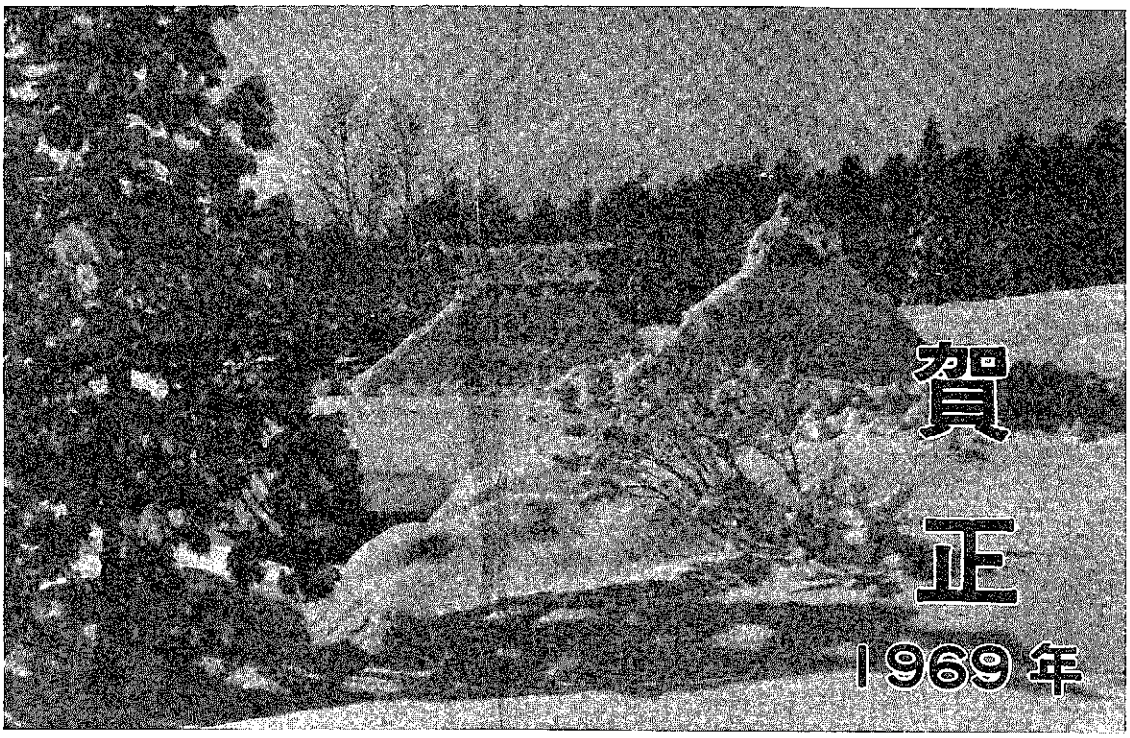


1969年1月10日
第 67 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (0)3131
編集　商工観光課

住民基本台帳人口
(昭和43年12月31日現在)
総人口　27,612人
男 13,307人　女 14,305人
世帯数 5,977

新年を迎えて

町長　江端一郎

新年おめでとうございます。昨年中は巻町にとって思い出の深い年でありました。それだけにことしはまた一そう意義深い年にいたしたいものと念ずるものであります。世の中のすべては積み重ねによって始めて業績というものがあらわれて来ると思いますが特に近代のように複雑な世の中になってきますと一そうそのことが痛感されてまいります。ことしを光輝ある年といたしますためには今までに培った種子の芽を最大限に発揚することに努めなければならないと思います。たとえば道路の問題を一つ取り上げて見ましても、巻土木事務所の開設によって大きな曙光が見い出されましたし、教育の点で県青年の家の建設決定が将来の教育都市を約束することになりましたように一つ一つの芽を考えこれをたいせつに伸ばしてゆく、そこに巻町の発展があると考えます。もちろんこの外新たに起る問題もたくさんありましょうし、新しく考えねばならぬ問題もございましょう。そこに生きた政治があるはずでありましてその政治がうまくゆくかどうかはこれらの問題の調和を考えなければならないと思います。

それからもう一つ意義深いと共に楽しみな年にいたしたいものでございます。最近は月世界旅行というようなすばらしい夢が着々実現へ歩を進めておりますが、その半面かってない暗いニュースもたくさんあります。私たちの人生が楽しい人生であるためには私たちの周囲がそれにふさわしいものでなければならないと思います。「道は近きにあり」と申しますがまづ私たちの町をそのように造り変えてゆく努力を私はねばならないと考えます。それには町民打って一丸とならなければ真の理想社会は招来できません。

この年に幸あれ!!それがための努力を誓い会おうではありませんか。年頭に当たり一言述べてごあいさつといたします。

本年も躍進の年に

町議会議長　井沢一二

町民の皆さん明けましておめでとうございます。ここに、希望の新春を迎え、皆さんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

一昨年議長の重職に就任いたしましてから議会の円滑なる運営と町勢の伸展を第一義として、誠心誠意努力してまいりました。おかげをもちまして大過なく昭和四十四年の新しい年を迎えることができましたことはひとえに皆さまのご支援と、ご協力のたまものと心から感謝の意を表するしだいであります。

かえりみますとわが巻町は年々発展し、新町発足から本年で十四年目を迎えたのでありますが、当時の懸案は申すにおよばず、いよいよ隆盛のいっとをたどっております。

特に昨年は土木事務所、青年の家、北日本食品の誘致をはじめ駅舎の改築、新二級国道の問題解決その他国、県道の改良舗装、舟戸橋掛け替え、町道の改良舗装など近年まれにみる業績をのこしております。このことは、全町民の愛郷精神がきわめておう盛なことと町当局と議会が一致協力して、町の行政運営に当たった結果であり、町民生活の安定を図るには、今後幾多の重要問題が山積しております。その解決を図ることは直接町政を担当するわれわれに課せられた責務であり、国および県の施策と相まって町財政の範囲内において、最大の効果をあげるべく努力する覚悟であります。

しかしながら町民の福祉を増進し町民生活の安定を図るには、今後幾多の重要問題が山積しております。その解決を図ることは直接町政を担当するわれわれに課せられた責務であり、国および県の施策と相まって町財政の範囲内において、最大の効果をあげるべく努力する覚悟であります。

さて、従来から巻町が堅持して来ましたところの健全財政はあくまでもこれは踏襲しなければなりません。これらの基本に立って近く新年度の重点施策が立案されることになりますが、とくに本年は議会で特別委員会を設定した鎧潟地内における町村境界変更に関する調査および角田山開発計画の樹立ならびに老人福祉対策として、法定外に議会が意志決定を行なった老人いこいの家建設促進委員会の設置など、その活躍が大いに期待されております。

昭和四十四年も昨年に劣らず巻町躍進の年として町政全般にわたる内容充実に最大の努力を傾注する所存でありますので、なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをお願い申し上げます。

年頭にあたりいささか所感を述べてごあいさつといたします。

NHK青年の主張

県一位に永井順子さん(柿島)

「こんな仕事に一生を捧げたい」

NHK青年の主張新潟県大会に出場した県立巻農高三年永井順子さん(柿島)が「こんな仕事に一生を捧げたい」で堂々県一位になり、関東甲信越地区予選に進みましたが、残念ながら全国大会の出場権は逃がしました。

以下永井さんからその全文の要旨を寄稿していただきますので、ご紹介いたします。

こんな仕事に一生を捧げたい

永井順子

「田の中にころがって、人の迷惑になっているような石にはなるな。同じ石でも、石垣のように美しくなくてはならない石になれ」夏の八ケ岳実習で場長さんのこの教訓にうなづきながら、どんなに小さくても必要な石になりたいと思いました。

五人姉妹の次女に生まれた私は長女である姉が農業をするのは嫌だと泣いていたのを知ったのは小学六年の時でした。農業について何も知らないのに、ただ父母の当惑しきった顔を見ているうちに「おれが農業をする。家を継いで百姓になる」と言ってしまった私、でも跡継ぎという宿命に何度悩んだ事でしょう。

しかし、農業高校に入学して初めて三十羽のヒヨコを買ってもらい、何も知らない私はただ毎日鶏小屋へ通い世話をしました。その鶏が病気のために、半分も死んでしまった時には何と自分が情けなく思われた事でしょう。投げ出したい気持ちを抑え毎日世話をした鶏が初めて小さな卵を産んだ時には私にもできたんだという喜びで思わず涙ぐんでしまいました。

このような喜びを知ながらも自分の一生を考えると家を継いで農業をやる事に対し、卒業を半年後に控えて、まだ迷っていた私に、農業をやろうと決心させてくれたのは友であり、両親でした。卒業後もグループを作り、話し合い学び合って行こうと相談をもちかけてくれた友。私の卒業を楽しみに苦しい仕事をも一手にひきうけてせっせと働く父。自分の体験を通した農業での働く喜びを話してくれる母……。私がやらなければならないのは農業だ。場長さんの言われた必要な石になれるのは、私を最も必要としているこの農業で意欲を持って働く事なのだと知りました。

私は友と強く手を結び、常に夢と希望と笑顔とを忘れずに、農業人として、また賢明な農村婦人として、小さくてもかけがえのない一つの力になりたいと思います。

県養鶏試験場跡地に

郡町村会　西蒲総合庁舎を県に請願

新潟県養鶏試験場の仁箇移転新築に伴い郡町村会(会長江端巻町長)では、その跡地一万六百十平方メートルに県出先機関の西蒲原総合庁舎建設を十二月県議会に請願採択されました。

巻財務事務所、西蒲原社会福祉事務所、巻保健所、巻農地事務所、巻土木事務所、巻地区農業改良普及所の県出先機関が、巻町内に点在していることからふつごうの面が多く、また老朽化したり、手ぜまになっているため、これらを収容した西蒲原総合庁舎の建設実現を計るべく請願したものです

十五日は成人式

町では、一月十五日ことし二十歳を迎えられた五百五十八人の新成人者を招いて巻小学校体育館で午前十一時から行ないます。

公民館では成人者のための意義ある式にしたいとふうをこらしています。なお出席者には文集「はたちの記録」「舊蒲古墳より出土した県指定文化財「だりゅう鏡」の模型が贈られます。

国民年金保険料変わる

今月分から三十五歳未満二百五十円以上三百円

国民年金の保険料の額は、昭和四十四年一月分から、三十五歳未満の人は、月二百円が二百五十円に、三十五歳以上の人は、月二百五十円が三百円に、それぞれ改定されます。

今回の保険料の改定は、すでに決められたものです。すなわち、国民年金法では少なくとも五年ごとに年金額の引き上げを前提として、保険料の額を再計算することとなっており、その第一回の計算期である昭和四十一年の法改正において年金額が、昭和四十二年一月分から二・五倍に引き上げられました。つまり、老齢年金の額は、二十五年間保険料を納めた場合は年二万四千円から年六万円に、障害年金の額は、年二万四千円から年六万円（重度の障害の場合は一万二千円を加算）に、母子年金および準母子年金の額は、年一万九千二百円から五万五千二百円（子が二人以上あるときは二人目の子から一人につき四千八百円を加算）に、遺児年金の額は、一万二千円から三万円にと、それぞれ約二・五倍の引き上げが行なわれました。この際、当然保険料の額もこれに見合った引き上げが必要とされるわけです。しかし、この年金額の引き上げに伴う保険料の引き上げは、相当大幅なものとなり、被保険者に大きな負担がかかるので、一度に過重の負担をかけないため、昭和四十二年一月と昭和四十四年一月の二回にわけて引き上げるという措置がとられたわけです。

昭和四十四年一月分の保険料からは、変更された額で納めることになりますが、誤って変更前の保険料額を納めたり、また、これを納め忘れたりしないよう注意してください。どうしても、この保険料を納めることができない事情があるときは、保険料免除制度もありますので役場厚生課年金係に問い合わせてください。

成果を上げて終わる

歳末たすけあい運動

恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月いっぱい展開されましたが、今回も善意が結集され、大きな成果をあげて終わりました。

ここにご協力かたがたお礼を申し上げます。善意を寄せられた人たちは次のとおりです。

町議会議員一同、ボーイスカウト、高校通り商店街青年部、桑原金蔵（稲島）、外山文浩（十三区）伊藤長四郎（潟頭）。

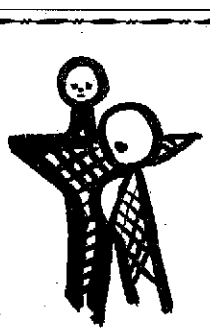
これらの方々からいただきました善意は貧困世帯はじめ長期療養者、心身障害児施設入所者などへそれぞれ贈りました。

なお、弥彦学園やその他から感謝の礼状が厚生課あてに届けられていることを申し添えます。

献血にご協力を

一月二十七日午前十時から午後三時まで役場前に採血車ゆうあい号がきます。県下の病院は現在保存血液不足で困っています。献血に一人でも多くご協力ください。

楽しい一日を



家庭の日　1月19日（日）

人づくりの基礎は家庭にあるといわれます。

明るい家庭、それは青少年の健全育成に欠くことができません。

ところが多くの家庭では忙がしさのあまり、家族みんながそろって話しあうとか、楽しみあうことがなかなかできない状態です。

そこで、せめて月に一日「家庭の日」を決め、家族みんなで話しあい、楽しみあい、力をだしあうことをおすすめします。

そこにはあたたかい人間関係が形成され、ひいては地域全体に関心が高まり、広がることに期待がよせられています。

町でもこうしたねらいをもって毎月第三日曜日を「家庭の日」とするよう提唱しています。

一月は十九日が「家庭の日」です。つごうでこの日実施できないときは、つごうのつく日に実施してください。

このほど巻町青少年問題協議会で編集した子どもたちの作文集「子どもの目」は、明るい家庭や、人間関係など、つよく訴えています。次にかかげる作文は「子どもの目」から抜すい紹介いたします。

おとなの人へ

おとなの人がいないと、ごはんのしたくやせんたくもしてもらえないし、お金ももらけてもらわないと、お米やなにかも買えないからこまるけれども、わたしは、あんまりすきではありません。

それは、お酒をのんだら車をうんてんしてはいけない、と、テレビや新聞でいっているのに、やっぱりお酒をのんで車をうんてんするから、交通じこはだんだんおおくなってつみもない人が、車にひかれて死んだりけがをしたりするからです。また車をうんてんしなくとも、よっぱらって、ふらふらあるいたり、道に急にとびだせばうんてん手がこまります。だからおとなの人は、自分自分で気をつけてもらいたいと思います。

ほかに、よその人がいる時だけやさしくして、よその人がかえると急におこったりするからいやです。いつもやさしくしてくれたらよいと思います。

それから、おとなの人はうそをつく時があるのでいやです。「あしたどこかへつれていってやるよ」といってよろこばせておきながら、つぎの日になると「急に用じができたから、このつぎにしよう」といって、かんたんにやくそくをやぶります。

おとなの人はいろいろ仕事があるから、わたしたちのあいてばかりもしていられないことは、わたしたちもわかります。それなら、はじめからだまっていて、つれていかれるときに、すぐいえばよいと思います。

重症児が待っている おむつを贈ろう

重症心身障害児者施設などの入所者の大部分が、おむつを使用していることはみなさんご承知のとおりです。

一昨年重症心身障害児施設などへおむつを贈る運動で約二万枚を県民の協力で集めることができ、各施設に配分、たいへん喜ばれました。

ところがその善意のおむつも消耗がはなはだしく、施設の方でふたたびおむつ不足におちいり非常に困まっています。

そこで再度おむつを贈る運動が展開されていますのでご協力ください。おむつの規格は一・五メートルを輪にしたもの。一月二十五日までに厚生課へご持参ください。

農業表彰式

一月十八日巻農協で

昭和四十三年度巻町農業表彰式を一月十八日午前九時三十分から巻町農業協同組合で行ないます。

これは米、スイカ、球根、施設園芸、豚、タバコの競作会で優秀な成績を収めた農家を表彰するものです。

農家の意欲は干ばつ、八・一二水害にもめげず各種競作会の成績は県下でも上位の位置を占めました。

冬にきたえる 館長杯青年球技大会

青年たちの体力づくりと親睦をかね、館長杯争だつ球技大会を行ないます。総合優勝チームには館長杯が贈られる。

○日時　一月十九日（日）午前九時開会式

○会場　巻小学校体育館

○種目　バレーボール（男女混合）、卓球（男女混合団体戦）、バドミントン（男女混合団体戦）

○参加資格　町内青年グループの男女とする。なお、全種目参加の困難なチームは一種目でもかまわない。

○申し込み　所定の申し込み用紙により一月十六日までに公民館へ。

○その他　参加チームは午前九時までに会場へ集合のこと。

保育園児募集

四ツ郷屋保育園（公立）を追加

広報まき十二月二十五日号でお知らせした保育園児の募集記事中に四ツ郷屋保育園が落ちていますので追加いたします。

○四ツ郷屋保育園（公立）

満一歳六か月以上乳児　六人。

満三歳以上幼児　五十四人。

みどり保育園は九十人

みどり保育園では、昭和四十四年四月からの入園申し込みを次の要領で受け付けています。

○募集人員（年齢は昭和四十四年四月一日現在）

満一歳六か月以上乳児　十人。

満三歳以上幼児　八十人。

○申し込み　一月十日から一月二十日まで。申し込み用紙は役場窓口、みどり保育園にあります。現在入園中の児童は申し込む必要ありません。不明の点はみどり保育園に問い合わせてください。

お知らせ

ごみ収集は十六日休務

ごみ収集、焼却場、し尿汲み取り作業は次のとおり休務になります。

○ごみ収集、焼却場

一月十六日、臨時休務。

○し尿汲み取り

一月十五日、十六日、十七日の三日間休業。

し尿汲み取り依頼前に除雪を

町民のみなさんよりし尿の汲み取りについて依頼がありますが、

水道管は寒がりや 布きれなどで保温を

一月から二月にかけ寒さがだんだんきびしくなるにしたがって水道管の破裂、蛇口のパッキンの故障がめだってふえます。この故障は家庭で次のことを注意することで十分防ぐことができます。

○水道の立ち上がり管には、布きれなどで保温をしてください。（専用の保温材の取り付けは水道工事店で扱っています。）

○立ち上がり管や蛇口が凍結した場合は、いきなり熱湯をかけないで徐々にあたためてください。

○蛇口が凍結してねじが動かないときは、むりにまわさないで暖めてからあけてください。

○凍結した蛇口をあけたまま留守にしないでください。

雪で水道の検針が不可能 十二、一月分は暫定料金

一月十六日から巻地区の検針に伺う予定でしたが降雪のため検針できませんので十二月、一月分の水道料金は、いままでの実績を参考にして算定いたします。

なお、暫定料金による過不足料金は次回の検針により精算いたしますのでご了承ください。

（水道課）

編集後記

灰色の空から音もなく静かに舞う雪の中で新しい年、昭和四十四年を迎えました。

自然は年頭からありがたくない お年玉〝豪雪〟を私たちにむりやりプレゼントしたようです。

国境のトンネルを抜けると雪国であった。……日本で最初のノーベル文学賞を受賞した作家川端康成の小説「雪国」の有名な書きだしに描写されているように雪国の風情は、スモッグの中で生活している都会人にとってすばらしい世界かも知れない。

だが、私たち雪国に住む者にとっては初雪の風情はともかく、雪大雪のため屋根雪の運行が計画どおりゆきません。特に各戸への汲み取り口までの路地に雪が多く作業に手間どっています。汲み取りを依頼される家庭はあらかじめ家の周囲を除雪してからご連絡ください。

今月の納税

町民税	第4期	
国民健康保険税	第4期	

納期限　1月31日

町の各銀行、信組、各農協でも取扱っていますのでわざわざ役場窓口へおいでにならなくともお近くの金融機関へお納めください。

おうぶこえ（十二月一日以降届け出）

赤ちゃんの名まえ	生まれた日	保護者	住所
玉木　直美	12・7	高一郎	堀山団
渡辺　圭子	12・5	福一	葉萱場
斎藤　道子	12・12	秀俊	真島
渡辺　道子	11・23	勝一	野沢
伊藤真知子	11・25	松一	和吉
遠藤美由紀	11・26	小一郎	堀山団
棚辺　正和	11・29	誠	布目
石田真有美	11・30	勝	誠
渡辺　朝子	12・1	清治	赤さび
高橋　栄作	12・2	忠七	潟頭
渡辺　健二	12・5	三四	潟区
小川　勇二	12・5	虎男	東6区
真島　秀俊	12・5	福一	葉萱場
野沢　和吉	12・7	高一郎	堀山団

成人式

成人の名まえ	年齢	住所
成瀬　明博	12・9	新田
小竹　信義	12・10	大原
大屋　清憲	12・10	竹野町
堀内　浩二	12・11	吉竹町
鈴木　栄悦	12・12	赤さび
斎藤　庄吾	12・12	松山
市橋　淳子	12・12	秀夫
島倉　純市	12・14	清雄
星野　吉久	12・15	篠市
渡辺　陽子	12・16	東6区
加藤　陽子	12・17	生三
今井　秀幹	12・18	隆稲
石田　知子	12・19	思義
潮井　寛子	12・19	清
河村　智幸	12・20	正家
長谷川明子	12・20	哲力
山川　幸二	12・22	寅五郎
山川　五十嵐フミ	12・26	越前浜
山田　明美	12・23	葉萱場

おくやみ（十二月一日以降届け出）

名まえ	年齢	住所
高橋　得蔵	12・3	堀山新田
篠沢　作市	4・4	松浜区
渡辺　正一	11・10	山頭区
河村　佐久	11・11	山新田
佐藤　喜市	12・14	伊三郎
近藤　三郎	12・19	岡部
川村　伊トヨ	12・20	岡屋
安川　敬治郎	12・21	鮮四ツ郷屋区
金子　多計夫	12・24	伏堀
相模　正	12・24	松浜区
杉山　ツヤ	12・26	潟頭
石田　小林	12・27	四ツ郷屋区
上杉　フジイ	12・28	堀
五十嵐　フミ	12・28	角田浜区
山川　幸二	12・30	越前浜